競技・ハンディキャップ委員会議事録

日　時：令和 7 年 8 月 3 日　14：10～16：10

①　　コース委員会・臨時理事会について

→会議冒頭、吉田理事長より 7 月 6 日（日）に行われた合同委員会の報告、
岡田委員長より 7 月 3 日（木）に行われた臨時理事会の報告が行われた。

②　　2026 年競技日程表について

→2026 年の競技日程について承認をもらう。

③　　平日杯開催の曜日について

→富高委員より現在平日杯の開催が毎月第 3 木曜日と固定になっているが、
月によって開催の曜日を変更するのはどうかとの意見があった。

■⇒結論が出ないため、継続審議。平日杯参加者の意見を聞き動向を見ていく。

④　　理事長杯・シニア選手権マッチプレー化について

→松本委員より今年の理事長杯・シニア選手権参加者に、マッチプレー化に対する
アンケートを書面で実施するのはどうかとの意見があった。

■⇒前回の競技委員会にて「事務局側で過去 3 年間にシニア選手権に参加経験がある
プレイヤーへ聞き取り調査を行った結果、反対意見多数だった為、マッチプレー化
は見送りとする」という結論が出た為、来年度のマッチプレー化は見送りとする。
再来年以降に関してのマッチプレー化に関しては結論が出ないため、継続審議と
する。

⑤　　月例杯フルバックティ使用について

→松本委員より月例杯 A クラスにおいて、西 6 番、東 6 番、中 7 番のフルバックティを
使用可にするのはどうかとの意見があった。

【◎決定事項】

➔ 西 6 番、東 6 番は場外打球の恐れがあり、中 7 番は西 4 番から西 5 番へ向かう
プレイヤーに打球が当たる恐れがある為、これまで通りとする。

⑥　月例杯Cクラス設置について

→松本委員より今年の3月～6月に月例杯Aクラスの参加者が多く、予約が取りづらい状況である為、以下の区分に変更するのはどうかという意見を受けた。

Aクラス　～13.9　　Bクラス　14.0～19.9　　Cクラス　20.0～

【◎決定事項】

➔ 現在、月例杯予約開始直後はキャンセル待ちが発生し予約が取りづらい状況となっているが、実際に月例杯開催日の直近になるとキャンセルが発生し、キャンセル待ちをしていたプレイヤーは全員予約を取ることが可能な状況となっている為、月例杯のクラスの区分はこれまで通りとする。

⑦　バックティ申請について

→松本委員よりマスター室でのバックティ使用の申請時に、使用する際の条件にハンデの上限があるにも関わらず、ハンデを書かずに申請をするプレイヤーが多く、プレーの進行も遅いプレイヤーもいる為、月例杯Aクラスのプレイヤーのみ使用できるよう使用条件を変更するのはどうかという意見を受けた。

【◎決定事項】

➔ 申請時にハンデの記入と遅延プレーを確認した場合、申請を取り消すという声掛けを徹底していく。

使用条件に関してはこれまで通りとする。

⑧　クラブチャンピオン専用駐車場の設置について

→古賀委員よりクラブチャンピオンの副賞として専用駐車場を設置するのはどうかという意見を受けた。

■⇒会社に確認をし、結論が出次第報告をする。

⑨　競技時距離計使用の際の高低差測定モードの仕様確認について

→古賀委員より競技時に距離計の競技モードへの切り替えを忘れ、高低差が測定できる状態で競技に参加しているプレイヤーがいるのではないかという意見を受けた。

【◎決定事項】

➔ 競技時に距離計の高低差測定の機能の使用は禁止されているため、競技委員が

競技スタート時に距離計を使用するプレイヤーに競技モードに切り替える様案内をする。

⑩　開場記念杯集計方法変更について

→前回継続審議となっていた開場記念杯集計方法変更の件について

【◎決定事項】

➔ クラブ競技ということで従来通りアンダーハンデ競技での集計とする。

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2025 年 12 月 14 日（日）開催予定。

以上